

## 平成 20 年度モニタリング調査実施状況

ニホンジカ保護管理計画に基づき、モニタリングを実施する。平成 20 年度に実施するモニタリング項目は以下のとおりである。

表 1 モニタリング調査項目（平成 20 年度実施項目に網掛け）

	調査対象地区	調査項目		調査頻度
植生 状況 調査	緊急対策地区	植生への影響の把握	上層（1.3m以上） ・毎木調査 ・剥皮の有無と程度 ・枯死木の有無 等	上層：1回/5年
			下層（1.3m未満） ・草本の草丈、被度・群度 ・木本の実生や稚幼樹の 樹高・被度・群度 等	下層：毎年
	重点監視地区	植生への影響の把握	調査区は防鹿柵の内外を含めて設置し、効果を検討する。 ・緊急対策地区では、ササの分布や実生の密度についても調査する。	上層：1回/5年
				下層：毎年
	周辺部	植生への影響の把握	調査区は防鹿柵の内外を含めて設置し、効果を検討する。 ・緊急対策地区では、ササの分布や実生の密度についても調査する。	上層：1回/5年
				下層：1回/5年
生息 状況 調査	緊急対策地区	生息密度の把握	糞粒法	毎年
			区画法	1回/5年
			ルートセンサス	毎年
	緊急対策地区	行動域調査	テレメトリー法（GPS 発信機）	毎年
		捕獲個体調査	捕獲個体の繁殖および栄養状態に関するデータを収集する。	毎年
	重点監視地区	生息密度の把握	糞粒法	毎年
			ルートセンサス	毎年
		捕獲個体調査	捕獲個体の繁殖および栄養状態に関するデータを収集する。	毎年
	周辺部	生息密度の把握	糞粒法	1回/5年